

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		28
部	福祉保険部	課	障がい福祉課	

1. 指定概要

施設概要	名称	市民共生センター		建設年	2004年（大規模修繕 年）					
	所在地	滋賀県近江八幡市大森町41番地7		利用対象	全市 地域					
	設置目的	高齢者の健康増進や、障がい児者の自立を支援し、お互いの人権を市民が尊重し、“ともに生き、ともに支えるまちづくり”を目指す。								
	規模	敷地面積1944.57㎡、延べ床面積844㎡、階数 地上1階、地下一階								
	指定管理開始年度	令和7年								
指定管理者	名称	株式会社アウトソーシングトータルサポート								
	所在地	横浜市都築区茅ヶ崎中央8-33 サス7205								
指定管理業務の内容		高齢者・障がい児者に向けて、運動・遊戯・休息・交流等の為の場所を提供する。								
指定期間		令和 7年 4月 1日 ～ 令和 10年 3月 31日 （ 3年間）								
指定管理料		令和5年度： 千円		令和6年度： 千円		令和7年度： 17,000千円		令和8年度： 17,000千円（見込）		
利用料金制		採用している			選定方式		公募		応募者数	1

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和7年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	[目標] 施設を安全かつ快適にご利用いただけるよう、日常的な点検や法令に基づく各種点検・検査を適切に実施し、設備の維持管理に努める。また、不具合等への早期対応を行うことで、利用者の皆様が安心して利用できる環境を維持。あわせて、館内外の清掃や環境整備を継続的に実施し、清潔で快適な施設環境の保持に努める。 [具体的な取組] 施設等の維持管理 ・施設等の日常点検、法定点検、定期点検等の実施 ・警備保障業務の実施 ・清掃業務の実施 ・備品の日常管理、消耗品の補給	施設等の維持管理 築10年以上経過しており、所々老朽箇所が増加している。当センターは、地震等自然災害時の避難場所にも指定されているため、その機能を保持するためにも施設維持管理が必要不可欠である。令和7年度には下記の修繕を行った。 ・男子トイレ掃除用流し排水管つまり修繕 ・ブラインド取替修繕 ・誘導灯蓄電池改修 ・空調機修繕（緊急のため） ・非常放送設備及び火災通報装置の蓄電池取替	(よかったと評価できる事項) 修繕を要すべき箇所は修繕を行えたことから、目標に関しては達成できていると考えられる。 (改善を要した事項と対応) 現状維持にて対応。改善は要さない。 (課題) 特になし。
		[目標] 当施設設置の目的に基づき、高齢者や障がい者の積極的な自立や社会参加を促し、共生する社会を目指す運営方針を取る。 [具体的な取組] 施設の貸館業務 ・施設の利用許可 ・施設利用料金の徴収	・貸館許可に伴う利用許可件数 許可に伴う利用許可件数 2,575件	(よかったと評価できる事項) 自主事業の実施により、高齢者及び障がい児者の健康増進・居場所づくりへの貢献や、市民との交流機会としての一定の役目を果たすことができたと考えられる。 (改善を要した事項と対応) 特になし。 (課題) 高齢者向けの事業が大多数を占めており、障害児者向けに周知を行う必要がある。
		[目標] 高齢者や障がい者の団体やサークル等活動の場の提供のため。 [具体的な取組] センターの貸館事業や自主事業講座の開催および絵画や書道等の作品展示。	講座の開催のべ56回 【内訳】 ・パソコン教室 6回 ・寄せ植え教室 1回 ・カローリング教室 1回 ・サウンドテーブルテニス教室 2回 ・パソコンフォロー教室 21回 ・囲碁将棋交流大会 2回 ・ビーンボウリング教室 1回 ・ちぎり絵教室 3回 ・点字体験教室 5回 ・自彊術教室 3回 ・気功教室 3回 ・折り紙教室 3回 ・ポッチャ教室 3回 ・ファミリーバドミントン教室 2回	(よかったと評価できる事項) 特になし。 (改善を要した事項と対応) 自主事業に係る対象者基準の再考・利用者に対する事業アンケート（評価）を執り行う。 (課題) 多数の自主事業を実施することで、駐車場のスペースが足りていない。指定管理者には事業展開には慎重に執り行っていただきたい。

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	〔目標〕 高齢者や障がい者の団体やサークル等活動の場の提供のため。 〔具体的な取組〕 センターの貸館事業や自主事業講座の開催および絵画や書道等の作品展示。	・貸館施設の利用状況 年間総利用数 28,290人	(よかったと評価できる事項) 市民の皆様が利用しやすい施設運営に努め、安心して利用いただける環境づくり。
				(改善を要した事項と対応) 自主事業に係る当施設利用者の施設占有率・繁忙時間と閑散時間での利用者数の比率を指定管理者に調査していただく。
				(課題) 近隣施設の改修工事等の影響により、当施設の利用率は増加傾向。一方で、駐車場スペースに限りがあることから、利用時間帯によっては混雑が発生しており、今後も継続的な課題有。

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和7年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	収入の部 収入合計 2,709,789 施設使用料 2,139,579 弁償費 554,830 その他 15,380 支出の部 (施設改修費) 支出合計 35,011,095 人件費 6,153,579 管理費 10,124,076 改修費 18,733,440 収支差額＝収入-支出 △32,301,306 令和7年度より指定管理が開始。	収入の部 収入合計 18,962,585 指定管理料 17,000,000 施設使用料 1,605,855 その他収入 356,720 支出の部 支出合計 17,658,279 人件費 10,288,497 事務費 2,901,873 その他 4,467,909 収支差額＝収入-支出 1,304,306	(よかったと評価できる事項) 限られた指定管理料の中で運営されたことを評価します。 (改善を要した事項と対応) 下記記載のように随時モニタリングを要します。 (課題) 人件費や修繕費が下半期にて上昇傾向になっています。

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	通年
評価頂いている内容	前年と同じ内容での施設運営。
苦情・意見等	・駐車場におけるアイドリングでの苦情・大雪時のキャンセル料 (お客様都合でのキャンセル)

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

利用者数が年々の増加している為、駐車場のスペースを確保したい。

6. 指定管理者の自己評価コメント

今年度の事業運営は、多くの市民の方々のご理解とご協力のもと順調に運営することができ、高齢者や障がいのある方々が主体となったサークル活動も活発になり、今後も市民共生センターを拠点として高齢者、障がい児者、地域住民の方々の支援に向けて、引き続き機能充実に努めてまいります。

7. 所属の総括コメント

利用者増加や防犯対策など一定の取組は評価できる一方で、駐車場問題や自主事業での対象基準、契約・点検業務の確認体制などに課題が見受けられる。今後は場当たり的な対応に留まらず、計画的な施設運営及び課題改善に取り組まれない。
--